



第61号

木曾川町連区



地域づくり協議会だより

【発行日】令和5年12月1日 【発行者】木曾川町連区地域づくり協議会

☎493-0006 木曾川町内割田一の通り27

(一宮市木曾川庁舎内) ☎84-0005

【メールアドレス】k-chiiki@orihime.ne.jp

【ホームページ】<https://138kisogawa.org> 木曾川町連区で検索してね♪ HPはこちらからどうぞ



	世帯数	総数	男	女
一宮市（全体）	167,301	378,786	184,944	193,842
木曾川町	14,671	33,941	16,604	17,337

ご存知でしたか？
R5.10.1現在の人口です。
一宮市の約1割が木曾川町に住んでいます。

木曾川町連区地域づくり協議会発足10周年記念事業 "Public Talk in Kisogawa" 開催のお知らせ

地域づくり協議会では、毎年恒例の“Junior Talk in Kisogawa”を8月に開催し、町内の小中学生から地域づくりアイデアを提言してもらいましたが、この度、地域づくり協議会発足10周年を記念し、さまざまな年代の大人による地域づくりのアイデアを語り合う機会を持つことにしました。多くの方々のご参加をお待ちしております。



Talkテーマは「少子高齢化が進む中で、地域のつながりをつくるには？」

さまざまな年代の大人が集い、「共助としての地域防災」「高齢者の生きがいや楽しみ」「安心してできる子育て」の3つの視点から話し合います。

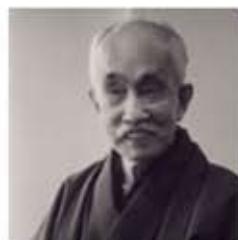
また参加者には、テーマについて①どう考えるか、②そのために何が必要か、③実現に向けてあなたは何かができるか、事前に各自の考えをまとめておいていただくことを求めます。

1. 開催期日 令和6年2月3日（土）午前9時30分～11時30分
2. 会場 木曾川庁舎2F 研修室A
3. 参加資格 高校生以上の木曾川町在住・在勤・出身者
4. 参加申込 ①地域づくり協議会役員・委員に申し出 または
②右記QRコードからWeb申込
5. 募集定員 20名程度（定員を大きく超えた場合は、先着順）
6. 申込期限 令和5年12月22日（金）



《今後の予定》

木曾川町再発見講座開催のお知らせ 「日本画の大家・川合玉堂は木曾川町出身！」



昨年度に引き続き、木曾川町再発見講座『日本画の大家・川合玉堂は木曾川町出身！』を開催します。

講座は、一宮市博物館学芸員による「玉堂の生涯とその作品」の解説を中心に進めますが、今年は川合玉堂生誕150周年です。これを記念し、生誕地の木曾川町と終焉地の奥多摩（東京都青梅市）にある「玉堂美術館」が連携した講座内容も企画していますので、ぜひお越しください。

1. 開催期日 令和6年1月27日（土）
午後1時30分～3時（受付1時15分～）
2. 会場 玉堂記念木曾川図書館 2F 視聴覚室
3F 展示ギャラリー
3. 参加申込 Web申し込み（右記QRコードから）
4. 募集定員 60名（※定員を超えた場合は、先着順）
5. 申込期限 令和6年1月12日（金）



ご連絡

市民体育祭について

5年ぶりの体育祭を楽しみにしていましたが、当日のテントはりの最中に雨が降り出し、参加者の皆様の健康と安全を第一に考えた結果、残念ながら中止となりました。

前日からの準備、公民館役員の皆様、町内会役員の皆様本当にお疲れさまでした。なお、準備した賞品は区から各町内を通じて、出場予定の選手の方に配布されました。



雨天中止

広報部会より

広報部会では、「ご意見箱」を使って、「地域の問題解決」を皆さんと一緒に話し合って実現する「参加型の地域づくり」を試みていきます。

「敬老会についてのアンケート」には、たくさん参加いただきありがとうございました。アンケート結果は次号に掲載を予定しています。

今回の「ご意見箱」のテーマは「市民体育祭」です。

木曾川町連区は、市内でも三番目に人口の多い連区であり、体育祭は木曾川町民一体となって、区対抗で競技に取り組む貴重な行事の一つです。しかし、準備など役員の方のご苦勞、雨天時の対応など、課題も多く開催方法などの工夫は出来ないか考える時期に来ているのかもしれませんが。

皆さんのご意見をお待ちしています。

スマホでQRコードを読み込んで、回答してください。（回答期限 1/20）



HUGを開催しました(安全安心部会)

9月2日(土)木曾川庁舎2階にて、HUGを開催いたしました。

HUGというのはH:避難所 U:運営 G:ゲームの略で、実際に災害が起きたときに、避難所をどうやって運営するか? 木曾川地区の3小学校と中学校の全体の図面を見ながら、次々に起こる様々な課題に、地域の皆さんで対応していただくという疑似体験です。

地域の約70名の方が参加して、皆様熱心に取り組んでいただきました。体験後、各チームに発表していただきました。どのチームもコミュニケーションをとりながら、様々な条件を考慮し、避難所の運営を考えていらっしゃいました。

実際の災害が起きたときの現実を知り、今後の対策を立てる上で大切なことを共有していただく時間となりました。



第40回木曾川町一豊まつりを開催しました (木曾川商工会)

今年は40周年の節目にあたり9月16日(土)に前夜祭を、9月17日(日)に本祭を開催しました。

前夜祭は木曾川運動場グラウンドにおいて「三河伝統手筒花火連合会」による手筒花火を行いました。会場には大変多くの皆さんにご来場いただき、間近で見ると手筒花火の臨場感溢れる炎や音に大いに盛り上がりました。また会場内にキッチンカーの出店や子供向けゲームコーナーなどが設けられ、来場いただいた皆さんに喜んでいただけました。

本祭は黒田小学校をメイン会場にイオンモール木曾川、アピタパワー木曾川店の3会場で開催しました。呼び物の戦国時代パレードは、晴天に恵まれ一豊、千代など主役の皆さんや戦国武将隊、木曾川中学校吹奏楽部や修文学院高等学校吹奏楽部など総勢300名が豪華、そして勇壮に沿道を練り歩きました。また陣羽織隊にもパレードを盛り上げていただきました。

メイン会場の黒田小学校では「楽市楽座」として美味しい食べ物・飲み物の販売や楽しいゲームなど多くの出店で賑わい、ステージのショーやパフォーマンスを楽しんでいただきました。イオンモール・アピタパワー会場でのイベントも大勢の方が訪れ、皆さんに大いに喜んでいただけました。



区長あいさつ

(前号からのつづき)

西割田区 杉浦公市

令和5年4月、西割田区長に就任しました杉浦です。大学卒業後、好きな機械設計の業務に従事していました。30代後半に管理部門に異動となり、その後子会社を含め一貫して経営管理業務に携わって参りました。まもなく70歳を迎えますが、今も関係会社の役員を務めております。

父親の体調が懸念され、13年前に木曾川に戻って来ました。20年余り地元を離れており些か不安がありましたが、子どもの頃一緒に遊んだ友達から”お帰り”の一言に吹っ切れました。副区長として7年、地域活動を通して様々な年代の方々とお会いする機会に恵まれ、良い刺激になりました。家にいる時は、8歳になる雛のうさぎの世話をして和んでいます。人間なら70代、同じシニア世代です。

●地域の課題・地域づくりへの要望

区長に就いて日も浅く経験も乏しいことから、現時点では地域の課題や地域づくりへの要望事項について、把握できていない状況です。今後の地域活動を通して、都度対応していくことになると思われま



玉ノ井区 岩田富雄

皆さんこんにちは。私は本年度、玉ノ井区長に就任することになりました岩田です。

未熟な私が区長となったことから、地域の皆さんにご迷惑をお掛けすると思いますが、区の役員、町内会長を始め、委員や住民の皆様と一緒に、これまでのように安心して暮らせる地域づくりを目指してまいります。

私の趣味は二つあります。一つ目の趣味は二胡演奏です。勤務先を定年退職後、ボケ防止になると思い、中国の楽器二胡を二胡奏者から習っています。なかなか良い音はできませんが、コロナ禍前は介護施設等で教室の仲間と一緒に慰問活動を行っていました。もう一つの趣味は水彩画を描くことです。これも水彩画サークルに入って楽しんでいます。

●地域の課題・地域づくりへの要望

玉ノ井長寿クラブでは、学童の見守り・交通委員の交差点等での啓発活動・健康づくりのラジオ体操やハイキング大会・地域の皆さんの神社の清掃活動等、多くのボランティアの方が活動してみえます。これからも、お互いに助け合いの精神を活かしながら、ますます暮らしやすい地域となりますよう、活動してまいります。



里小牧区 佐塚 篤

●里小牧の目標

1. 道路拡張

里小牧保育園から斜めに堤防の県道の交差点から西に向かう(水道小屋前)の道路が狭く車のすれ違いもできなく不便、また中学生の通学道路で危険です。5、5メートルに広げます。早ければ10月 遅くとも3月までに完成します。

2. 図書館開設

宇夫須奈公民館に、児童図書館をつくります。夏休みの子供の居場所に公民館を開放します。図鑑 日本のお城写真集 子供も大人も楽しめる本を用意します。一宮市中央図書館、住民の皆さんから 300冊くらい集まりました。本棚も完成しました。子供たちも お父さんもお母さんも爺婆も一緒に本を読みましょう。

【住んで良かった里小牧】

里小牧は1500世帯 5300人が暮らし、長さ3.5Kmの木曾川に沿った小さな町で、町のほとんどが二重堤防の中です。美しい自然と 穏やかで親切な人たち、里小牧を知らずに来た人が、まず驚く。それが里小牧の魅力。水がいっぱいで、ゆったりとした木曾川は、ドイツのライン川に似ている。美しいとは思っていても、まさか木曾川が世界レベルの美しさだ、と地元の人気が付いていない。里小牧から、上流、下流を見てもこの美しさは世界レベルだ。水と、文化と心の町は、人を呼び寄せます。

ウグイスは年中私たちを迎えてくれます。木曾川の湾処(わんど)には天然記念物のイタセンパラもおります。アライグマもキツネもタヌキも里小牧にあります。冬にはコハクチョウの飛来もあります。120羽も来ます。住んで良かった里小牧。それが私たちの願いです。

